



学校から徒歩 10 分でぶどう園へ

「ブドウの 1 年を追いかける」

—鳴海東部小学校の総合的な学習を取材して—
小島ぶどう園にて



小島重廣さん

鳴海東部小学校では小学 4 年生 99 名を対象にした総合的な学習の一環で、ブドウと自分たちで育てたツルレイシ（ゴーヤ）とを比較しながら生育過程を学んでいます。

緑区でもここ平手を中心にしてブドウ園がいくつか点在しており、鳴海東部小学校はブドウを観察するにはとても適した場所にあります。5～6年前に学校側からブドウを観察してほしいと近所でブドウを長年育てている小島さんに依頼したところ、「ブドウを知ってもらなら生育の過程も目でみて、触れて学んでほしい」という、小島さんのブドウにかける熱い思いを受け、毎年このような体験学習を授業に取り入れています。



4 月(花芽)

5 月(花)

6 月(実)

7 月(袋かけ)

4 月に花芽を観察し、5 月は白く小さなブドウの花を観察しました。6 月に実る様子を観察し、7 月には児童たちがそれぞれ自分の名前を書いた袋をブドウの房に掛けました。5 回目の授業となる今回は、児童たちが自分で掛けた袋にそれぞれ名前をかいたものを、収穫です！

9 月(収穫)



きみどり色の実が
紫色になったよ。

収穫後は小島さんより、来年またブドウを育てるために収穫後どのような作業があるのかの説明を受けました。

11 月には、葉っぱが落ちた後に伸びたブドウの枝を観察します。

このようにブドウの 1 年を間近に感じられる場があるということは、地域の農業に親しむ上でも、食育という点においても、大変有意義なことです。この授業を通して児童たちはブドウのことがますます好きになることと思います。

名古屋の農業に関する様々な情報を発信しています。

『なごや農あうネット (<http://www.nga.or.jp/nouau-net/>)』もあわせてご覧ください。

* 今回から名称が「緑農政だより」になりました。(平成 20 年 7 月の「朝市の紹介」創刊以来 7 号目です。)*

